

## 提出された意見と市の考え方

頁	意見の要旨	市の考え方
15	最近では、局地的な大雨が多く発生している中、都市化が進むことで、建物や舗装部分の面積が増加して、雨水が土の中にしみ込みにくくなり、河川へ流れでる量が増えることで洪水が発生しやすくなると聞いている。草津市における浸水対策は大丈夫なのか。災害に対応できる対策を行ってほしい。	雨水に対する災害対策の推進については、計画書の「第3章 事業運営の目標」「3-2 行動計画」として、治水対策事業の実施(雨水幹線の整備)を記載しており、今後も、計画に沿って整備を進めるとともに、令和2年度に更新し、令和3年6月1日に全戸配布しましたハザードマップの活用により、ハード・ソフトの両面から浸水対策に取り組んでまいります。